やましん歌壇掲載歌＜第９回＞

		平成２６年３月～平成３１年４月	令和１年５月～
短歌	掲載短歌	H27 年 9 月：かなかなの途切るる声にかなかなと 遠くで応えるかなかなの声：井上菅子選	R2 年 3 月：薄墨の便りが届きまた一つ 住所録から友の名を消す：佐藤幹夫選
		H27 年 9 月：フェンス越しのプールで挙がる歓声に 幼き日々の想い出湧き来：大滝　保選	R2 年 3 月：脚本の台詞の間合いに仕組まれて 際立つ沈黙饒舌凌ぐ：井上菅子選
		H27 年 11 月：遠き山近き紅葉を水面に 浮かべて池は秋の万華鏡（＊）：阿部京子選（筆頭三席） 選評：遠景、近景すべてを映す水面の華やかさを「万華鏡」と捉えた。心の動きに雑念がなく直線的な描写が心地よい。	R2 年 3 月：凍てし道粉雪の下に隠れおり 歩みは摺り足ゴミを出す朝：大滝　保選
		H27 年 11 月：いつからかシルバーウィークと呼ばれおり 老いを敬う想い遠のく：井上菅子選	R2 年 4 月：なごり雪「これがそうか」と呟けり 妻も頷く春の往還（＊）：佐藤幹夫選
写真短歌（＊） 共同制作（＊＊）		 写真撮影地：赤沢の森はるのき夫婦沼 短歌：平成27年11月10日付け“やましん歌壇”掲載歌（阿部京子選）	 撮影地：山形市（自宅）　短歌：令和２年４月27日付け“やましん歌壇”掲載歌（佐藤幹夫選）
作品	短歌	８７首	９８首（令和７年２月まで）
	写真短歌	３８作品（自身の作品：３７＋共同制作：１）	７０作品（自身の作品：４９＋共同制作：２１）

Copyright　SKｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ　SADASHI　kuronuma　(2001～　　)